

# お坊さんからの手紙、二通目平成二十五年四月

浄泉寺には、大自然からの春の便りが次々と届いています。そんな生命力溢れる四月にはとても大切なイベントがあります。



## 四月八日は何の日？

この日付を聞いて、「ピコと来る方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。夕焼けは多いほど嬉しいですね。四月八日はお釈迦さまのお誕生日です。どのお寺でもこの時期になると「花まつり」と題してお祝いします。お釈迦さまがお生まれになったことを歡び、お祝いし、感謝をする行事です。小さい頃にお釈迦さまのお像に甘茶をかけた思い出ありませんか？「まついえは…」と思っ出した方も、「したかなあ…」と思っ出せない方も今年は一緒に祝いしませんか？

## どうして甘茶をかけるの？

(誕生仏)

「花まつり」では、お花で飾り付けをした小さなお堂にベビーブツダを安置直し、お体へ甘茶をおかけします。こゆは、お釈迦さまがルンビニーという花園でお生まれになり、その時に竜が天から甘露の雨を降らせたという伝説に由来します。また、甘茶は健康茶でもありますので、お詣りの際には是非お召し上がり下さい。

## 名前に込められた想い

お釈迦さまの呼び名はたくさんあります。「お釈迦さま」「ブツダ」「釈尊」などなど。こゆらは全て尊称であり、本当のお名前は「ガウタマ・シッタールタ」と言います。「ガウタマ」は「最も優れた牛」と意味します。インドでは、牛は神の乗り物として神聖視されています。このことから「ガウタマ」がどゆだけ尊いお名前であるのかが分かります。また「シッタールタ」は「大いなる目的の成就」を意味しています。お釈迦さまのお名前には、ご両親の大きな期待と願いが込められており、お釈迦さま自身もまたそのお名前通りの方でした。

みなさんは自身の名前にどんな想いが込められているのかを聞いたことがありますか？私の名前は「晃司」と言います。「日の光がすべての暗闇を取り除いてくゆるように、このゆも光を放ち周囲を暖かく照らしていつてほしい」との願いを込めた名前だと聞いております。あまりの願いの大きさに嬉しくもあり、恥ずかしくもあります。しかし、名前に込められた両親の想いを知ることによって、それに応えゆるようなそんな生き方をしたいと思うようになりました。

なかなか難しいとは思いますが、まずはみなさんに暖かな光を届けることができなう励んでいきますゆ。それでは今日はこの辺で。

渡邊晃司様